



筑後市地域自立支援協議会

医療的ケア児等ワーキングチーム

第1回

令和6年度第1回 総合福祉センター

「地域で暮らす医療的ケア児等の現状と課題について」

多機能事業所LuLuの隈元氏より、医療的ケアが必要な方を受け入れることができる事業所の運営や、医療的ケアが必要な子を持つ親としての想いをご講演いただきました。

講師

多機能事業所LuLu 代表理事 隈元 浩郷氏

くまもと ひろさと

18歳になる重症心身障害の娘を持つお父さん。

娘の幼少期に安心して預けられる施設がなかったため、自ら看護師免許を取得し、柳川市に多機能事業所LuLuを開所した。柳川市の医療的ケア児等コーディネーターとしても活動中。



LuLuの利用者18人のうち12人が医療的ケアが必要な児童です。在宅で人工呼吸器を使用している児童が増えている印象があります。

医療的なケアがあることを怖いと思うことが多いと聞きますが、特別視せず元気な子と同じように話しかけています。ただ、常に命の危険性は頭に置いておくようにしています。

娘の幼少期は医療のことも福祉のことも何もわからない状態でした。

事業所の管理者になっても、その時の思いを忘れずに、利用者や保護者に寄り添うようにしています。

【感想】

事業所の代表の立場、当事者の親としての立場からの話を聞くことができ良かったです。



医療面だけでなく家族の思いや介護負担など、広い視野を持って関わっていかなければならないと再認識することができました。

医ケアワーキングチームとして、どのような活動ができるのかについて話し合っていたいです。

その他



医療的ケア児等コーディネーターってなあに??

保健、医療、福祉、子育て、教育、災害対策等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児等とその家族に対し必要な情報提供や関係機関等につなげます。また、医療的ケア児に対する支援のための地域づくりを推進する役割を担います。

筑後市でも、医療的ケア児等コーディネーターの資格を持った人が数名活動しています。

『医療的ケア児日常生活支援事業(旧レスパイト事業)』が開始されました!!



日常的にたんの吸引や経管栄養が必要な医療的ケア児の看護や介護を行うご家族の負担の軽減を目的としています。ご利用の訪問看護ステーションの看護師を医療的ケア児の自宅等に派遣する事業です。例)きょうだいの授業参観の間、子どもをみてほしい。通院についてきてほしい。

※具体的な運用方法については、筑後市福祉課(65-7022)におたずねください。

